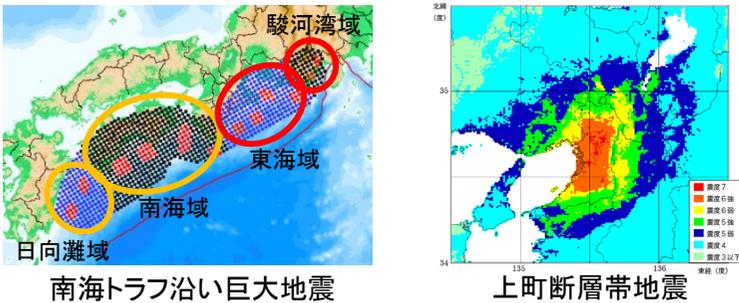


1. 研究背景・概要・目的

研究背景

大地震による大阪平野での被害が懸念



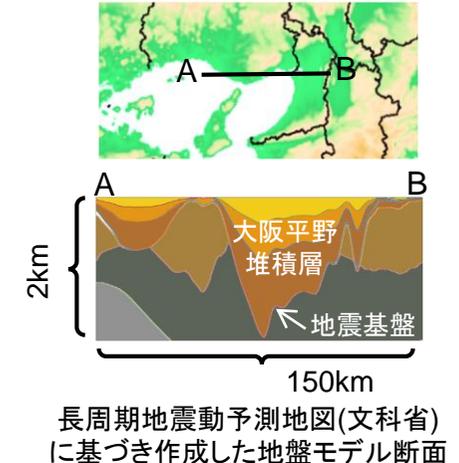
正確な地震動シミュレーションが必須
内閣府や文科省が地震動検討

研究概要・目的

実地震のシミュレーションによる
地盤モデルの最適化 を目的とする

- ①地盤モデル層構成の再現精度
- ②差分格子間隔
- ③地盤モデルの地盤物性値(V_s)

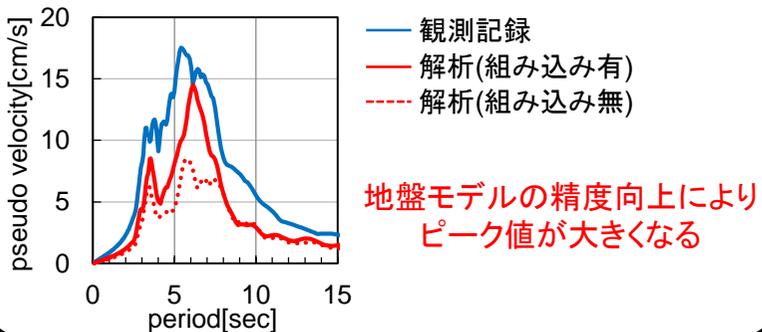
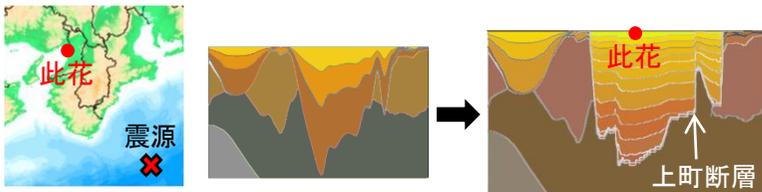
将来の大地震の
正確なシミュレーションへ



2. 2004年紀伊半島南東沖地震(Mj=7.1)の長周期地震動シミュレーション

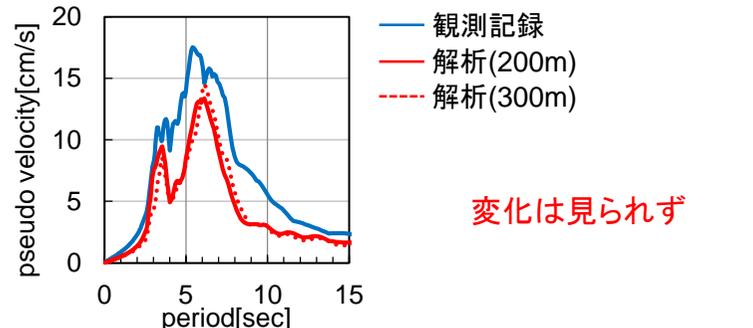
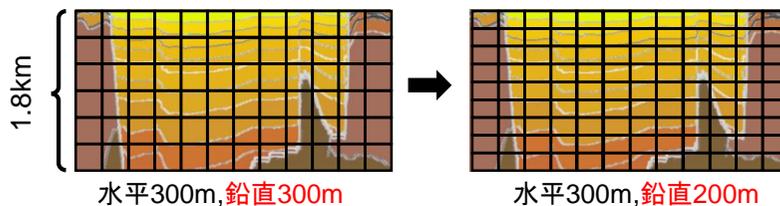
①層構成の再現精度の検討

大阪平野堆積層に産総研モデルを組み込む



②差分格子間隔の検討

差分格子間隔を鉛直方向のみ小さくした解析を行う



3. 今後の予定

②差分格子間隔の追加検討

水平・深さ方向共に
格子間隔を小さくした解析を
大型計算機を用いて行う

+

③地盤物性値の検討

V_s 500m/s以下を入力し
表層地盤まで再現した解析を
大型計算機を用いて行う